

おお まつ
大 松

～心の架け橋～



香住小学校学校だより
第33号
平成29年8月
香美町立香住小学校

夏休み 体験を通して育つ子ども達

○ふるさとまつり たらいこぎ大会に参加 7月22日

たらいこぎ大会に、6年生3チームが参加して、大会を大いに盛り上げました。小学生の部へのエントリーは全部で8チームでした。チームによっては、事前にプールや海で練習をしていたようです。香住小学校チームは、直前の陸での講習会とイメージトレーニングで臨みました。実際にたらいに乗り込むと、オールの向きを間違えたり、風に押し返され同じ場所をクルクル回ったり、中には、前のめりで一生懸命漕いで、転覆する場面もふんだんにありました。それでもワイワイ、ガヤガヤと笑顔を忘れることなく、速いチームの三倍も四倍も時間をかけて最後まで漕ぎきりました。ふるさとまつりのひとコマで、海の楽しさを思いっきり満喫し、たくさんの人の笑顔を引き出した香住っ子でした。



○球技大会 卓球に挑戦(チャレンジ) 7月30日

第48回香住区少年少女球技大会が、今年も、子ども会育成連絡協議会を中心とする関係者の皆さんのお世話により実施されました。香住小学校からは、今年は卓球の個人戦に、男子13名、女子12名が参加し、熱戦を繰り広げました。B&Gの体育館で実施された卓球では、ポイントを一つとる度に、大きな歓声と拍手がおこりました。3セットまでもつれ、あと一步のところまで悔しい思いをした児童もいました。



大会の持ち方も変わり、以前のように全員参加ではなくなり、参加者も減りましたが、それでも、参加した児童は、貴重な挑戦(チャレンジ)の場を手にすることが出来ました。卓球の個人戦では、1回戦で負けた児童もいましたが、緊張しながら臨んだ試合は、貴重な体験になったはずです。

試合の結果は、卓球女子個人が3位でした。参加した全ての児童にとって、思い出に残る夏休みのひとコマになりました。関わっていただいた保護者の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

○「放課後陸上」「プラスアンサンブル」も、練習に励んでいます。

校舎の3階から、すてきな楽器の音色が聞こえてきます。運動場では、真っ黒に日焼けした児童の元気に走る姿が見られます。夏休みも、「放課後陸上」と「プラスアンサンブル」のメンバーは、指導者のもと、それぞれの目標に向かい練習に励んでいます。自分でやると決めたことをやりぬくことは、とても素晴らしいことです。また、今年も、中学生との交流の機会も設けて、練習しています。そこでも、たくさんの刺激を受けて伸びようとするでしょう。これ以外にも、児童はきっといろいろな場面でがんばっているはずです。そのがんばりの基本は、やはり、早寝・早起き・朝ごはんです。残りの夏休みも生活のリズムを大切にして乗り切って2学期につなげてほしいものです。